事 業 報 告 用

令和5年度

事業報告書

特定非営利活動法人 学ボラ・サポート・プロジェクト

1 事業の成果

当法人は、自治体の「学生ボランティア派遣事業」を受託し、養育困難家庭の子どもたちの元へボランティア学生を派遣することを通して子どもの自立支援を行い、また派遣する学生に対する研修等の養成を行っている

令和5年度は、新型コロナウィルス感染症の影響も薄れ、コロナ禍以前に戻った事業活動を実施することができた。またコロナ禍で行われたオンラインによる学生募集や学生研修、研修動画のアーカイブ化は、忙しい現代の学生生活スタイルに合わせ、引き続き取り入れて実施した。

- 総計 11 人の子どもたちへ定期的な派遣(定期活動)を 162 回(前年度 154 回)実施することができた。参加学生は延べ 257 名であった
- 夏の勉強会は全 4 回を計画・開催したが、うち 1 回は参加者がなく実施できなかった。参加者は延 べ人数で子ども 6 名。延べ 12 名のボランティア学生が子どもの宿題などを手伝った
- 夏のお楽しみ会は4年ぶりに1日のプログラムを実施した。お楽しみ会では、午前中はビアポン大会(紙コップにピンポン玉を入れ得点を競う)、午後はペーパー飛行機の作成と飛行機飛ばしを行った。昼食にはボランティアの作ったサンドイッチをふるまった。子どもの参加は2名、ボランティア学生5名の参加であった
- 冬のお楽しみ会は12月に実施し、夏と同様に1日のプログラムを行うことができた。子どもの出席は6名、ボランティア学生は6名の参加であった。午前中は大学奇術愛好会のマジックショーを観賞し、午後は巨大トランプでトランプタワーづくりに挑戦した。昼休憩時間は子どもからのリクエストに応え、カードゲームで楽しく遊ぶ時間とした
- 文化的経験活動は、水族館の見学をした。子どもの参加は4名、ボランティア学生は9名、事務局3 名であった。距離・時間・内容ともに適切なプログラムであったと考えている
- 法人に登録をしているボランティア学生を対象とし、法人理事による必須研修を 5 回、外部講師を招いての特別研修を 1 回、活動の振り返りを行う定期活動者勉強会を 1 回行った。また滋賀県で開催された日本子ども虐待防止学会にボランティア学生 2 名を引率して参加した。さらに、これまではコロナ感染症の影響で見送られていた施設見学を令和 5 年度は実施することができた。9 月に児童自立支援施設の見学を行い、施設の職員の方からお話を伺う機会を持つことができた
- 研修内容は、1活動の目的や意義の説明、2子どもの発達理解、3活動の展開について、4対人援助 の演習などである。
- 3月14日には活動報告会を開催した。委託先自治体の関係者を招き、令和5年度で大学を卒業する 学生が、自身が担当した活動を振り返り子どもたちとの関わりについて報告を行った
- 学生募集活動は授業担当教諭の協力を得て、対面でのリクルート活動を行うことができた
- 通信「学ボラだより」(年4回)を通じて、学生の学びや経験など会員や学生へ活動の報告を行った。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款に記載 された 事業名	事業内容	日時	場所	従事者 人数	受益 対象者 範囲	受益 対象者 人数
養育困難家 庭の自立支援 事業	(1) 定期活動 (162 回) ② 特別活動 / 夏季学習教室(4 回) ③ 特楽しみ会(2回) ④ 特別活動/文化的 経験活動(1回) ⑤ 派遣調整	① 通年 ② 7/28,8/3,8/8, 8/17 ③ 8/25, 12/26 ④ 10/29 ⑤ 通年	① 児童宅/公的 施設 ② 公的施設 ③ 公的施設 ④ マクセルアク アパーク品川 ⑤ 役所	① 257 ② 15 ③ 14 ④ 12 ⑤ 2	子 ど も(6-16歳)	① 11 ② 11 ③ 11 ④ 11 ⑤ -
養庭の遺の 育のもす者 解どへ学業 家も派生	⑥ 研修⑦ 活動報告会※⑧ 学生リクルート⑨ 学ボラだより発行	⑥ 通年 ⑦ 3/14 ⑧ 通年 ⑨ 6,9,12,3 月発 行	⑥ 事務所⑦ 世田谷区⑧ オンライン/大学⑨ 一	6 6 7 6 8 4 9 2	⑥- ⑧ディ ア学生 員/ ②学生 学生	6 35 7 9 8 - 9 38
相談援助事業	今年度は実施なし		-	_		

(2) その他の事業

定款に記載 された 事業名	事業内容	日時	場所	従事者 人数	受益 対象者 範囲	受益 対象者 人数
	今年度は実施なし					

以上

決 算 報 告 書

第 14 期

自 令和 5年 4月 1日 至 令和 6年 3月31日

特定非営利活動法人学ボラ・サポート・プロジェクト

活動計算書

[税込] (単位:円)

ر ا مار جوار ا مار جوار ا مار ا مار جوار ا	سلم کیست − د		」(単位:円)
定非営利活動法人学ボラ・サポート・プロジェクト	目 分和 5年	E 4月 1日 至 令	3和 6年 3月31日
【経常収益】			
【受取会費】			
正会員受取会費	60,000		
赞助会員受取会費	5,000	65,000	
【事業収益】			
子どもの自立支援事業収益	4,353,780		
学生の養成事業収益	3,001,780	7,355,560	
【その他収益】			
受敗 利息		69	
経常収益 計			7,420,629
【経常費用】			
【事業費】			
(人件費)			
給料 手当(事業)	3,033,600		
人件費計	3,033,600		
(その他経費)			
支払報酬	780,000		
会 議 費(事業)	55,767		
旅費交通費(事業)	153,025		
通信運搬費(事業)	171,940		
事務用消耗品費(事業	6,621		
消耗品 費(事業)	41,843		
教 材 費(事業)	122,153		
学生活動費(事業)	1,032,000		
地代 家賃(事業)	144,000		
保 険 料(事業)	11,094		
研修費(事業)	20,918		
支払手数料(事業)	36,410		
雑 費(事業)	66,680		
その他経費計	2,642,451		
事業費 計		5,676,051	
【管理費】			
(人件費)			
給料 手当	1,490,400		
法定福利費	19,800		
人件費計	1,510,200		
(その他経費)			
会議費	3,222		
旅費交通費	2,788		
通信運搬費	60,803		
事務用消耗品費	6,960		
消耗品費	92,624		
地代 家賃	36,000		
支払手数料	27,050		
その他経費計	229,447		
管理費 計		1,739,647	

活動計算書

[税込](単位:円)

8,871,125

特定非営利活動法人学ボラ・サポート・プロジェクト	自 令和 5年 4月 1日	至 令和 6年 3月31日
経常費用 計		7,415,698
当期経常增減額		4,931
【経常外収益】		
経常外収益 計		0
【経常外費用】		
経常外費用 計		0
税引前当期 正味財産增減額		4,931
当期正味財産 增減額		4,931
前期繰越正味財産額		8,866,194

次期繰越正味財産額

貸借対照表 特定非営利活動法人学ボラ・サポート・プロジェクト

負債及び正味財産合計

全事業所

[税込] (単位:円) 令和 6年 3月31日 現在

9,514,671

∥答帝の部》

	《貧産の部》		
【流動資産】			
(現金・預金)			
現金	81,730		
普通 預金	7,551,881		
現金・預金 計	7,633,611		
(売上債権)			
未 収 金	1,851,060		
売上債権 計	1,851,060		
(その他流動資産)			
前払 費用	30,000_		
その他流動資産 計	30,000		
流動資産合計		9,514,671	
資産合計			9,514,671
	《負債の部》		
【流動負債】			
未 払 金	549,278		
預 り 金	94,268		
流動負債合計		643,546	
負債合計			643,546
	《正味財産の部》		
前期繰越正味財産		8,866,194	
当期正味財産増減額		4,931	
正味財産合計			8,871,125

財産目録 特定非営利活動法人学ボラ・サポート・プロジェクト

全事業所

[税込](単位:円) 令和 6年 3月31日 現在

《資産の部》

	《質性の引》	
【流動資産】		
(現金・預金)		
現金	81,730	
普通 預金	7,551,881	
三菱UFJ銀行	(5,374,842)	
三菱UFJ 寄付・会費口座	(2,177,039)	
現金・預金 計	7,633,611	
(売上債権)		
未収金	1,851,060	
売上債権 計	1,851,060	
(その他流動資産)		
前払 費用	30,000_	
その他流動資産 計	30,000	
流動資産合計	9,514,671	
資産合計		9,514,671
	《負債の部》	
【海動台書】		

	" 3C DC - 2 El-7"	
【流動負債】		
未 払 金	549,278	
預 り 金	94,268	
報酬源泉税	(2,274)	
給与源泉税	(24,605)	
その他補助	(67,389)	
流動負債合計	643,546	-
負債合計		643,546
正味財産		8,871,125

特定非営利活動に係る事業会計損益計算書

特定非営利活動法人学ボラ・サポート・プロジェクト

を 事業所	自 令和 5年 4月 1日	至 令和 6年 3月31日
【経常収益】		
【受取会費】		
正会員受取会費	60,000	
賛助会員受取会費	5,000	
【事業収益】		
子どもの自立支援事業収益	4,353,780	
学生の養成事業収益	3,001,780	
【その他収益】		
受取 利息	69_	
経常収益 計		7,420,629
【経常費用】		
【事業費】		
(人件費)		
給料 手当(事業)	3,033,600	
人件費計	3,033,600	
(その他経費)		
支払報酬	780,000	
会 議 費(事業)	55,767	
旅費交通費(事業)	153,025	
通信運搬費(事業)	171,940	
事務用消耗品費(事業	6,621	
消耗品 費(事業)	41,843	
教 材 費(事業)	122,153	
学生活動費(事業)	1,032,000	
地代 家賃(事業)	144,000	
保 険 料(事業)	11,094	
研修費(事業)	20,918	
支払手数料(事業)	36,410	
雑 費(事業)	66,680	
その他経費計	2,642,451	
事業費 計		5,676,051
【管理費】		
(人件費)		
給料 手当	1,490,400	
法定福利費	19,800	
人件費計	1,510,200	
(その他経費)		
会議費	3,222	
旅費交通費	2,788	
通信運搬費	60,803	
事務用消耗品費	6,960	
消耗品 費	92,624	
地代家賃	36,000	
支払手数料	27,050	
その他経費計	229,447	
管理費計		1,739,647_

特定非営利活動に係る事業会計損益計算書

特定非営利活動法人学ボラ・サポート・プロジェクト		·
全事業所	自 令和 5年 4月 1日	至 令和 6年 3月31日
経常費用計		7,415,698
当期経常増減額 【経常外収益 】		4,931
経常外収益 計 【経常外費用】		0
経常外費用 計		0
税引前当期正味財産増減額		4,931
当期正味財産増減額		4,931
前期繰越正味財産額		8,866,194
次期繰越正味財産額		8,871,125

令和5年度年間役員名簿(前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿)

特定非営利活動法人学ポラ・サポート・プロジェクト

1 確認事項(法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。)

□以下の役員には、欠格事由者が含まれません。(法第20条関係) □各役員について、親族の規定に違反していません。(法第21条関係)

2 役員一覧

	役 名 どちらかにO	(フリガナ) 氏 名	前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
1	選事」監事	タナカサトシ	2023年 4月 1日 ~	年 月 日 ~
1		田中哲	2024年 3月 31日	年月日
2	理事」監事	オオタケサトル	2023年 4月 1日 ~	年月日~
4		大竹智	2024年 3月 31日	年月日
3	理事」監事	ハヤシヒロヤス	2023年 4月 1日	年月日~
J		林浩康	2024年 3月 31日	年月日
4	理事」監事	スズキヒロヒト	2023年 4月 1日 ~	年月日~
7)	鈴木博人	2024年 3月 31日	年 月 日
5	理事」監事	ヒラトルリコ	2023年 4月 1日 ~	年 月 日 ~
		平戸ルリ子	2024年 3月 31日	年月日
6	理事」監事	ハラケイコ	2023年 4月 1日 ~	年 月 日
		原惠子	2024年 3月 31日	年月日
7	理事】監事	アリムラタイシ	2023年 4月 1日 ~	年月日~
'		有村大士	2024年 3月 31日	年 月 日
8	理事(監事)	タカハシタカシ	2023年 4月 1日 ~	年月日~
		髙橋貴志	2024年 3月 31日	年月日
9	理事(監事)	カワモトキョウミ	2023年 4月 1日 ~	年 月 日 ~
		川本京美	2024年 3月 31日	年月日
10	理事・監事	and the control of th	年 月 日 ~	年月日~
	-LT 10. T		年月日	年 月 日

社員名簿 (社員のうち10人以上の者の名簿)

特定非営利活動法人 学ボラ・サポート・プロジェクト

	氏 名	
1	田中哲	
2	大竹智	
3	森郁子	
4	中村扶実子	
5	小山田芽衣	
6	原惠子	
7	相澤京美	
8	有村大士	
9	鈴木博人	
10	大森春樹	
11		
12		